



<美和中校区小中一貫学校教育目標> 地域の未来を切り拓く児童生徒の育成

<めざす児童像>

- 夢や未来を語ることができる児童生徒
- 仲間と共に課題解決に取り組む児童生徒
- 学び続け、創り出すことに喜びを見出すことができる児童生徒

<チャレンジ目標>

美和東小学校 **チャレンジ目標**

美和東小、ABC

A

あたりまえのことを

tarimae



マロリン

B

びっくりするくらい

ikkuri

C

ちゃんとやる

hanto

いつでも どこでも だれにでも 何度でも「やまびこ」あいさつ

校長 東原 孝

新年度が始まり、新しい教室、新しい担任の先生、新しい学習など、子どもたちは進級したことをきっかけに心機一転、「新しい自分」になろうと頑張っています。私は今年も毎朝正門や学校入口付近で、子どもたちと「おはようございます！」と元気の良いあいさつを交わしながら、気持ちよく朝のスタートを切っています。学年が上がるにつれて、言葉だけでなく豊かな表情でのあいさつや、プラスワンの言葉が聞かれることが増えてきます。今年度最初の登校の時に、「おはようございます。校長先生、お久しぶりです！」と声をかけてくれた児童がいました。あいさつだけでなく、「あいさつ+1（プラスワン）」の声かけに感動しました。

今年もチャレンジ目標は上記にあるように「あたりまえのことをびっくりするくらいちゃんとやる」です。この目標を掲げて3年目を迎えますが、これまでいろいろな「あたりまえ」が「あたりまえ」にできることが、概ね子どもたちに浸透してきたように思います。この1年間でまわりの人が「びっくりするくらい・・・」のレベルになることを期待しています。

さて、先日の始業式で子どもたちに伝えたことを少し紹介します。あいさつについてです。この学校のほとんどの児童は、気持ちの良いあいさつをすることがあたりまえになっています。これをさらにステップアップするために「やまびこあいさつ」を提案しました。だれか1人のあいさつにみんなが反応し、あいさつを返してやることで、やまびこのようにまわりに波及し、あいさつがあふれ、学校全体の雰囲気が高まり、学習効果が上がる・・・というわけです。一般企業でも接客・販売にこの「やまびこあいさつ」を取り入れ、売上げが向上したという例もあるようです。

あいさつができる子は、それだけでまわりに好印象を与え、だれからもかわいがってもらえるものです。

これからも、学校や地域にあいさつがあふれる、生き生きはつらつとした美和町、美和東小学校でありたいものです。

新しい学年がスタートしました

新学期が始まってから約3週間がたちました。子どもたちは新しい環境の中で、いきいきと目を輝かせて学校生活を送っていますので、その一部をご紹介します。

4月8日、入学式を挙行し、9人の新入生を迎えることができました。



4月11日、好天に恵まれ、漁協の方々のご指導の下、稚鮎の放流を行いました。想像よりも大きな稚魚に、2年生たちも驚いていました。



3・4年生は複式授業で学習しています。先生が4年生についている間、3年生は自分たちで学習を進めていきます。ボランティアの方に手伝っていただくこともあります。



ほかの学年の様子も、今後ご紹介していきます。お楽しみに！